

No. 1587

発掘・大和の古墳展

—東京—

「発掘・大和の古墳展」が11月9日から東京新宿の小田急デパートで開かれています。これは橿原考古学研究所の50周年を記念して、これまでの発掘調査による出土品を展示したものです。1400年前の大和の前・中・後期の古墳から発掘された埴輪、武具、装身具など約500点が古代への想いを湧かせています。また、今話題の藤の木古墳の調査速報のコーナーも設けられ、石棺内を調べた生々しいカラー写真や、実物大の石棺の模型などが興味を呼んでいます。現在もすすめられている世紀の発掘調査の成果に、関心がよせられています。

「技能の日」

—東京—

東京都品川区中延にある「古林鉄製作所」の主人、古林好一さん64才が「現代の名工」の一人として表彰されることになりました。

古林さんは22才のときから父親のあとをついで42年間、理容、美容の業務用はさみづくり一筋の生活をつづけています。

表彰と共に嬉しいことは長女の夫が今年からはさみづくりの後継者になってくれた事で、仕事場も活気づいています。使い良さを工夫するためにはさみの調整板など特許をいくつもとるほどはさみづくりに力を入れてきました。昭和34年には天皇陛下の理容師から注文を受け納めたことも自慢の一つです。しかし、近頃は自分でハサミを研ぐ理容師が少なくなったことが淋しいそうです。

11月10日は「技能の日」、中野の全国勤労者会館で表彰式が行われました。中村労働大臣の祝辞のあと、今年選ばれた100人の名工と共に古林夫妻も壇上にあがり表彰を受けました。

古林さんをはじめ、現代の名工たちのこれからの仕事に期待したいものです。